

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



ヨーロッパ出張報告

先月、欧州フランス、ドイツへ出張に行きまして。今ドイツといえばサッカーワールドカップで熱い国です。その少し前という事で暑い工事現場を見る事が出来ました(笑)。私としては社長に同行して2年前にロス、シカゴに出張行っている以来2度目の海外出張でした。正直、英語の不安というのがあるのですが、しっかりと出張の成果を出せるかというのが一番の不安でした。ドイツのお客様にお会いすることが主目的でしたが、せっかくなので欧州に行くからと社長に許可を得、フランスの代理店にも顔を出すことにしました。フランスでは代理店の担当者との話し合いもスムーズにいき、またランチを共にするなど、ますますのスタートでした。一応ここの話ですが、一人観光もしまして、定番通りエッフェル塔、凱旋門、セーヌ川クルーズを堪能しました。また食事はかなり美味しく満足したフランスでした。



現地代理店Navisのスタッフと共に

お客様からもらった感謝の声

ある工作機械メーカー様の案件で、一度北米向けに輸出された機械（輸入通関等も終了して北米にてストックされている機械）を急遽日本に積戻し再度アジアへ運びたいとのリクエストを頂きました。貨物自体はドライコンテナに入らないオーバーサイズ貨物でしたので、特殊コンテナによる輸送もしくは在来船(RO-RO)の手配が必要でした。当初日本から北米に輸出された時は海上輸送及び北米サイドの通関、トラック手配も他社様ご手配によるものでした。お客様は当初輸出時の業者様へ早急な船腹確保のリクエストをされておりましたが、特殊コンテナもしくは在来という少し手間のかかるお仕事のためなかなか船腹確保、及び港までのトラック手配など積戻し手配が前に進んでいませんでした。そこで私も米国現地法人の手配にて最速の船を確保、無事日本に積み戻すことが出来ました。私どもの売りにしているオーバーゲージ貨物のハンドリングでお客様のお役に立つことが出来たので非常に嬉しかったです。



担当：大川内

海運豆知識



日本人は魚が好き



世界中で水産物がどのくらい食べられているかを国ごとにくらべると、1997年の統計では、世界の平均が1年間に一人あたり15.9kgなのに対して、日本人は70.6kg食べています。これは世界で4番目に多量です。ちなみにいちばん多いのはインド洋上にあるモルジブで153.4kg、2番目はヨーロッパのアイスランドで91.1kg、3番目はオセアニアのキリバスで78.6kgです。いずれも海に囲まれた島国です。それに比べると、アメリカ、イギリス、フランスなどの国では、日本人が食べている量の3分の1から半分くらいしか食べていません。



* 本船スケジュールはホームページでもご覧になれます。
<http://www.jpntrust.co.jp>

ブッキングはこちらまで！

ジャパントラスト株式会社
 本社：名古屋市中区丸の内 2-17-12 丸の内エースビル 9 階
 TEL：052-232-6671 Email：ncustomer@jpntrust.co.jp
 東京支店：東京都港区芝大門 1-4-9 大門ビル 4 階
 TEL：03-5473-8571 Email：tcustomer@jpntrust.co.jp

次にドイツですが、代理店のスタッフと一緒に倉庫や港の見学をし、日本やアメリカとの現場の違いを実際に見ることができました。今後、お客様により説得力のある説明ができるのではないかと思います。また、お客様の工場まで約4時間のフリーウェイドライブでは、現地代理店の担当者と英会話の練習をしながら(?)話をまとめました。ドイツではあまり観光は出来なかつたですが、人や町が日本人にとってすごく馴染みやすい雰囲気だと感じました。(あくまで主観ですが)出張へ行かせてくださった社長、僕が不在の間色々とフォローしてくれた社内のみなさんに感謝したいと思います。ありがとうございました。

執筆：岡本



Hamburg 港



Letter from Los Angeles

Hewlett-Packard, eBay, Avon, Xerox..... これら超大手大企業が共通して持っているのは、"女性 CEO"。現代女性が社会の中で活躍するなか、いままで騒ぎになっている某大手自動車メーカーのセクハラ訴訟。"Geisha"時代はとっくの昔に過ぎ去ったことを現実として認識するのはそんなに難しいことなのでしょうか。身近な現場ここ、GLIでもメガネの奥から目を細めて覗き見るK氏の姿が日々気になります。女性は見られて美しくなるもの、と自分に言い聞かせながら葛藤の日の繰り返しです。みなさん、女性の心はFragileです。貨物同様取扱いには細心の注意を払うよう心掛けましょう。

特派員：Shino

